

骨塩定量検査の 検査方法が

2021年11月8日より

変更になります



FUJIFILM 製
ALPHYS A

■ 骨塩定量検査とは

骨塩定量検査は骨を構成しているカルシウムなどの量（骨量）を測り、骨の強度を調べる検査です。骨粗鬆症の診断や治療効果の判定に用いられます。

■ 検査の変更点について

骨塩定量検査の装置入替に伴い、検査方法が変更になります。これまでは中手骨を標準物質（アルミスケール）と一緒に X 線撮影して骨密度を解析する方法（DIP 法）でしたが、新しい装置では前腕部に2種類の異なるX線を照射して骨密度を測定する方法（DEXA 法）となります。DEXA 法は DIP 法と比較し、検査精度がより高いとされています。



■ 検査方法

- ・ 利き腕と反対の腕（前腕）を撮影します。
- ・ 撮影時間は 10 秒程度です。
- ・ 結果は専用のレポート（書面）でご報告いたします。

<注意事項>

- ・ がん総合および成人病総合健診を受診された方が対象です。骨塩定量検査を単独でお受けいただくことはできません。
- ・ X 線を使用する検査ですので、妊娠中や妊娠の疑いがある方は検査ができません。
- ・ 検査方法が変更となるため、結果レポートに DIP 法で測定した以前の検査結果は表示されません。

ご不明な点がございましたら、営業担当もしくは当院にお問い合わせください

医療法人名古屋放射線診断財団

東名古屋画像診断クリニック



0120-73-1714

受付：9：00 - 18：00
日曜日・祝日休み

〒464-0044 名古屋市千種区自由ヶ丘3丁目4番26号

E-mail office-celeb@nagoya-pet.or.jp